

中部国際医療センターでは下記の要領で臨床研究を予定しています。

【2018年1月から2021年12月の間に、中部国際医療センター(旧称 木沢記念病院)にて大腿膝窩動脈病変に対して薬剤被覆性バルーンを用いた血管内治療を受けた患者さんへのお知らせ】

〈大腿膝窩動脈病変に対して薬剤被覆性バルーンを用いた血管内治療を受けた下肢閉塞性動脈疾患患者における significant diameter reduction, spiral shape, flow impairment, or adverse morphology (DISFORM)分類の妥当性の検証〉および〈診療録に基づく臨床情報の医学教育的二次利用〉を当院倫理委員会の承認を得て当院循環器内科にて行います。

2018年1月から2021年12月の間に、中部国際医療センター(旧称 木沢記念病院)にて大腿膝窩動脈病変に対して薬剤被覆性バルーンを用いた血管内治療を受けた方につきまして、診療録に基づく臨床情報を用いた後方視的調査研究を実施いたします。

本研究は、薬剤被覆性バルーンを用いて治療された大腿膝窩動脈病変を有する下肢閉塞性動脈疾患患者における臨床転帰と DISFORM 分類の関連性の検証を行うことを目的としております。

本研究は治療介入を伴わない「疫学研究」で、既存試料のみを用いた研究であるため、新たに人体試料は採取しません。また、個人情報とは連結可能な匿名化をします。

研究に関してご質問のある方は、下記までご一報くださいますようお願いいたします。

問い合わせ先：

循環器病センター循環器内科 山田雄大、青山琢磨

TEL:0574-66-1100 FAX:0574-66-1661